



東京防災学習セミナー



学びを更新！
地域の防災力を
アップしよう



首都直下地震への 地域の備え



大災害がいつ起きてもおかしくないと言われる中、大切な家族や自分を守るための準備は整っていますか？コロナ禍でもそのリスクは変わりません。

この講座では、地域で助け合う必要性、平時・発災時の取組、地域が抱える担い手不足・活動マンネリ化の解決方法などをテーマに、災害に地域で取組む大切さや方法、具体的な取組事例を学びます。

プロフィール：

特定非営利活動法人 CONNECT 代表理事
2014年4月～ CONNECT設立、代表 2017年11月～ 防災士取得

2019年2月 大田区・大田区社会福祉協議会共催 第13回NPO・区民活動フォーラム「災害時のトイレについて」講師
2020年2月・6月 日本労働者協働組合南部事業所主催「防災研修会（入門編）（応用編）」講師
2020年10月 大田区立男女平等推進センター主催 セナフォーラム2020「東京Xdayを家族みんなで生きぬこう」講師
2021年11月 大田区立男女平等推進センター主催 セナフォーラム2021にて「おうち丸ごと防災力アップ」講師

講師

原田 美奈子さん
防災士

YouTube オンライン配信【無料】

<https://tokyo-bousai.online/20221001-4168>

※配信は YouTube で実施します。上記 URL か右の QR コードにアクセスしてください。



2022年

配信期間

10月1日～10月31日

主催：玉川学園町内会、東京都（東京防災学習セミナー事務局）
事務局連絡先 (03-5542-0232)

令和4年度 東京防災学習セミナー

Bコース:首都直下地震への地域の備え

配布資料

はじめに

- 首都直下地震の特性
- 東京都地域防災計画で想定している地震
- 主な想定地震の想定・震度分布図と震源の位置
- あなたの地域の危険度を教えてください

1. 被災するとどうなるかを考える

(1)どの程度の被害となるかを知る

- 被害想定
- ライフラインの被害

(2)被災生活を考える

- 個人の自活準備

2. 発災時の対応行動について考える

(1)発災直後の対応について考える

- 東日本大震災被災者の声
- 発災後の流れとやるべきこと
- 発災時の行動のおさらい
身をまもるシェイクアウト まず低く 頭を守り 動かない
揺れが収まったら ドアを開ける ケガをしない 家族は無事？ 隣近所は大丈夫？
- ワークショップ 今夜の避難先を考える
① 考えたことある ②指定避難場所 ③地域の会館 ④公園・駐車場 ⑤その他
- 熊本地震における避難行動
コロナ禍で自宅や知人宅へ避難する。分散避難が推奨されている
- 避難先について考える

(2)共助としての組織的な対応について考える

- 阪神淡路大震災における共助の力
阪神淡路大震災では、約3割の人が友人・隣人に救出された
- データにみる共助への期待
- 防災市民組織と避難所の連携のイメージ
避難所運営組織:避難所 防災市民組織:現場対応
- 活動場所と時間の目安
- 自助、共助について考える

3. 平常時の取り組みについて考える

(1)地域が取り組んできた活動について考える

(2)地域の課題克服のヒントを探る

(3)事例紹介

(4)安否確認訓練のすすめ

4. まとめ

- コロナが収束したときにまず取り組んでみたい活動

- コロナが続いても取り組んでみたい活動